

一人でも多くの方々に、快適にご利用いただくために。

## バリアフリー対策

### 駅構内のバリアフリー

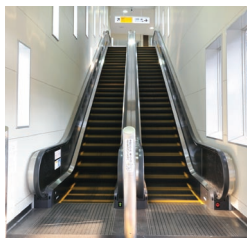
さらに快適な駅を目指して

#### エレベーター・エスカレーター・スロープ

エレベーター64駅174台、エスカレーター54駅199台、スロープ36駅に設置しています。



エレベーター(江古田駅)



エスカレーター(狭山市駅)



スロープ(本川越駅)

多くの機能を備えたトイレを設置

#### 多機能トイレ

車いすをご利用の方、オストメイト、小さなお子さまをお連れの方など、多様なお客さまにとって使いやすいトイレです。手すり、オストメイトのパウチの洗浄機能、おむつ交換シートなどの設備もあり、73駅に設置しています。



多機能トイレ

車いすやベビーカーでも安心

#### ワイド型自動改札機

自動改札機を79駅555台設置しています。なお、車いすやベビーカーをご利用のお客さま、大きな荷物をお持ちのお客さまにも便利な、ワイド型自動改札機を79駅すべてに設置しています。



ワイド型自動改札機

安心して駅・電車をご利用いただくために

#### 点字誘導ブロック・点字案内設備

目の不自由なお客さまを誘導し、転落を防止するため全駅に点字誘導ブロックを設置しています。その他、バリアフリー対応券売機を全駅に、点字運賃表を74駅に、点字手すりプレートを68駅に、点字案内板を36駅に設置しています。



点字誘導ブロック



点字運賃表

## 駅構内のバリアフリー

駅のご案内業務におけるバリアフリー

### 簡易筆談器

小竹向原駅を除く全駅の改札口に設置しています。これは筆談器を利用し文字を書くことにより、聴覚や言語が不自由なお客さまと駅係員のコミュニケーションを円滑にするものです。文字の他にも駅周辺の地理などを実際に図に示しながら分かりやすくご案内できます。

文字はボタン一つで消去できるため、個人情報保護がされるだけでなく、紙やインクも使わず環境にも配慮しています。



簡易筆談器

## 電車内のバリアフリー

やさしさと思いやりの空間

### 車いすスペース

103編成に設置。1993年度からの新造車両には、1編成中に1～4カ所の車いす用スペースを設置しています。



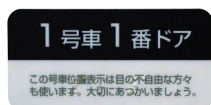
車いすスペース

電車の位置のお知らせ

### 点字案内・文字表示

目の不自由なお客さまに安心して電車をご利用いただけるよう、各車両(一部を除く7車種)の内側ドアに乗車位置をお知らせする点字案内を674両に設置しています。

これに合わせ文字表示を各車両(一部の車両と既設の車両を除く)の車内外の側面に設置しています。



点字案内



文字表示



文字表示

譲り合いのコミュニケーションスペース

### 優先席

お年寄りやおからだの不自由な方、妊娠されている方々に優先的に座っていただくための座席です。特急車両を除く全車両に設置しています。



優先席

# バリアフリー対策

## こころのバリアフリー

### “おもてなしの心”を サービス介助士

駅係員や乗務員が「サービス介助士2級」の資格を取得しており、接客のエキスパートとして活躍しています。

「サービス介助士」とは、NPO法人「日本ケアフィットサービス協会」認定の資格です。この資格は、ご高齢者や障がいをお持ちの方への「おもてなしの心」と「介助技術」の修得を目的としています。当社では駅係員全員の取得を目指しています。



### 高齢者や障がいをお持ちの方々をサポート

### 駅ボランティア

所沢市と協力し2004年度から「駅ボランティア」を開始。2005年度からは所沢市内の各駅を利用する中学生以上の方、所沢市内の秋草学園短期大学「地域保育学科」の皆さんにもご参加をいただき、現在529人が活動しています。

駅をご利用のご高齢者や障がいをお持ちの方を進んでサポートし、きっぷの購入や手荷物の運搬、電車の乗り降り補助など、その活躍は多岐に及びます。



航空公園駅で実施された駅ボランティア体験会

### 妊産婦の方々へやさしさを

### マタニティマークの配布

鉄道利用の際、「妊娠初期の場合は外見からは分かりにくく、周囲の方に妊婦と気付いてもらえない」「妊婦の方だと思っても、勘違いに対する恐れから席を譲れない」。こうしたお客さまの声にお応えし、鉄道の利用環境向上のため、全駅で妊産婦の方々へマタニティマーク(ボールチェーンタイプ)を配布しています。



マタニティマーク

### 安全・安心な地域づくりのために

### こども110番の駅

昨今、登下校時に子どもが被害に遭う機会が多発しています。子どもを危険から守ることは地域ぐるみの取り組みが大変重要です。地域の一員でもある鉄道事業者では、現在、より安全・安心な地域づくりに貢献するため「こども110番の駅」の取り組みを進めています。

当社でも2006年4月から取り組んでおり、子どもが助けを求めてきた際、子どもを保護し、110番通報するなどの対応をとっています。地域の安全・安心を担う一員として、子どもにとって楽しく、安心な駅を目指します。



©2011 Gullane(Thomas)Limited